

公衆衛生看護活動展開論

[講義・演習] 第4学年 前期 選択
(保健師養成コース限定必修) 2単位

《履修上の留意事項》令和5年度は前期に開講する。

《担当者名》 明野 聖子 naga-s@hoku-iryu-u.ac.jp 表山 知里

【概要】

公衆衛生看護活動における母子に関わる支援のあり方と具体的な展開方法を学ぶ。

【学修目標】

1. 公衆衛生看護活動の場における母子への支援の根拠となる理念、制度、事業の関連を説明できる。
2. 公衆衛生看護の立場からの活動展開方法として、家庭訪問、乳幼児健診、相談における支援のポイントが説明、実践できる。
3. 母子に共通する健康課題の解決に焦点を当て、活動展開方法（グループづくり、支援、施策）のポイントが説明できる。
4. 学童期の子どもを健康を支援する方法、養護教諭の活動のポイントが説明、実践できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	母子保健活動の根拠となる理念、制度	母子保健法、健やか親子21と公衆衛生看護活動	明野
2	母子保健活動の根拠となる理念、制度	母子保健事業の体系と保健師の役割	明野
3	母子保健活動の展開 妊婦・産婦と家族への支援	妊婦・産婦と家族の支援に必要な知識と技術	明野
4	家庭訪問の展開	乳幼児の家庭訪問に必要な知識と技術	明野
5	家庭訪問の展開	乳幼児の家庭訪問に必要な知識と技術	明野
6	家庭訪問の展開	新生児と家族のアセスメント	明野・表山
7	家庭訪問の展開	新生児と家族のアセスメント	明野・表山
8	家庭訪問の展開	新生児とその家族への個別援助計画の立案	明野・表山
9	家庭訪問の展開	新生児とその家族への個別援助計画の立案	明野・表山
10	家庭訪問の展開	新生児訪問ロールプレイ	明野・表山
11	家庭訪問の展開	新生児訪問ロールプレイ	明野・表山
12	家庭訪問の展開	新生児とその家族への個別援助実施記録	明野・表山
13	家庭訪問の展開	新生児とその家族への個別援助実施記録	明野・表山
14	家庭訪問の展開	新生児とその家族への個別援助の評価、次回計画	明野・表山
15	家庭訪問の展開	公衆衛生看護活動における子どもと家族を対象とした個人、集団、地域への支援	明野
16	乳幼児健康診査に必要とされる知識・技術	乳幼児健診の実際	明野
17	乳幼児健康診査に必要とされる支援技術	幼児期の子どもの成長・発達アセスメント	明野・表山
18	乳幼児健康診査に必要とされる支援技術	乳幼児期の子どもの成長・発達アセスメント グループワーク	明野・表山
19	乳幼児健康診査に必要とされる支援技術	乳幼児期の子どもの成長・発達アセスメント グループワーク	明野・表山
20	乳幼児健康診査に必要とされる支援技術	乳幼児期の子どもの成長・発達アセスメント グループワーク	明野・表山
21	乳幼児健康診査に必要とされる支援技術	乳児の健診に必要な知識と技術（4か月） 乳児の健診に必要な知識と技術（10か月）	明野・表山
22	乳幼児健康診査に必要とされる支援技術	幼児の健診に必要な知識と技術（1歳6か月） 幼児の健診に必要な知識と技術（3歳）	明野・表山

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
23	乳幼児健康診査に必要とされる支援技術	経過観察を必要とする子どもへの支援 発達障がいのある子どもへの支援	明野
24	母子保健活動におけるリスクを抱える親子への支援	ハイリスクな子どもと家族への支援 -事例検討会-	明野・表山
25	母子保健活動におけるリスクを抱える親子への支援	ハイリスクな子どもと家族への支援 -事例検討会-	明野・表山
26	学童期の子どもの健康支援	学校保健の安全と衛生に関する制度、養護教諭の役割	明野
27	学童期の子どもの健康支援	学校における保健活動の実際	明野
28	学童期の子どもの健康支援	学校における保健活動の実際	明野・表山
29	学童期の子どもの健康支援	学校における個別、集団、組織的な健康づくり	明野
30	まとめ	子どもと家族への公衆衛生看護としての支援のあり方	明野

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

1. 授業への参加： ロールプレイ・グループワーク・発表15%、 事例検討会10%など計35%
2. 提出物： 学習レポート課題7%、 新生児訪問計画27%、 リフレクションシート6%、 保健だより5%、 計45%
3. ミニテスト： 家庭訪問・法律と制度7%、 乳幼児健診7%、 学校保健・総合的内容6%、 計20%

【教科書】

1. 佐伯和子他編著：公衆衛生看護の方法と技術。医歯薬出版株式会社
2. 松田正巳他編著：対象別公衆衛生看護活動。医学書院
3. 西基：保健師国試スキルアップブックNEO。海馬書房
4. 日本家族協会：母子健康手帳。

【参考書】

1. 厚生労働統計協会：国民衛生の動向。
2. 中村裕美子：公衆衛生看護技術。医学書院
3. 木原秀樹：240動画でわかる赤ちゃんの発達地図-胎児・新生児期から歩行するまでの発達のつながりが理解できる。メディカ出版
4. 前川喜平、小枝達也：写真でみる乳幼児健診の神経学的チェック法。南山堂
5. 前川喜平、落合幸勝：乳幼児健診における境界児どう診てどう対応するか。診断と治療社
6. 平岩幹男：乳幼児健診ハンドブック-発達障害のスクリーニングと5歳児健診を含めて。診断と治療社
7. 福岡地区小児科医会乳幼児保健委員会：乳幼児健診マニュアル。医学書院
8. 宮本信也：子育て支援に今日から役立つ豊富な事例 発達障害のある子の理解と支援。母子衛生研究会
9. 小枝達也：「育てにくさ」に寄り添う支援マニュアル 子どもの育てにくさに困った親を同サポートするべきか。診断と治療社
10. 田中康雄：イラスト図解 発達障害の子どもと心と行動がわかる本。西東社
11. 中川信子：0～4歳ことばと心を豊かに育てる 子どもの発達に合わせたお母さんの語りかけ。PHP エディターズ・グループ

【備考】

Google Classroomを利用し、課題の提示・提出、記録様式の配信等を行う。学習目標の達成度の把握には、Google Formを活用する。

【学修の準備】

1. 新生児訪問に必要な知識、乳幼児健診に必要な知識に関して、学習レポートを作成する（1時間程度）。
2. 産褥期の女性の身体的・精神的変化について復習し、知識を整理する（30分程度）。
3. 新生児期、乳幼児期の子どもの発達について復習し、知識を整理する（1時間程度）。
4. 授業で配布した資料や課題は、実習時に活用できるようファイリングする（30分程度）。
5. 欠席した場合は、次回授業の前までに講義資料や提出物を必ず確認する。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2：看護専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。

DP5：多様な文化や価値観を尊重して地域社会に貢献できる能力を身につけている。

【実務経験】

明野聖子（保健師）、表山知里（保健師）

【実務経験を活かした教育内容】

行政での保健師としての実務経験を通じて得た知識・技術・態度等を活用し、実践的な教育を行う。